



「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。(Since 2006)

目次	Pages
➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ JRRN 会員寄稿記事	5
➤ 会議・イベント案内 & 冊子等の紹介	6

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

年始のご挨拶

2021年新年あけましておめでとうございます。

昨年はコロナ感染症の蔓延のためすべてのスケジュールは大きな影響を受けました。このような状況下でも皆様にはJRRNのネットワークの活動にご協力下さいまして大変有難うございます。

今年こそはこの状況に大きな転換を迎え新たな旅立ちをしたいものと、皆様と共に期待したいと存じます。

昨年は「できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集」の発行から5年が経過し、この間に蓄積された各地の活動を集め、小さな自然再生事例集の第2弾を発行しようと皆様のご協力をお願いしてまいりました大きな成果として、事例集第2集を3月に取り纏め、皆様に配布しております。この事例集は最初の事例集をご覧いただいた方々から、さらに多くの地域活動の実態を集約して多くの方々にお伝えするという目的でまとめました。第2集はこのような地道に取り組む各地域の活動を共有することができ、多くの方々から高い評価をいただきました。この取り組みに皆様のご大きなご支持をいただいたことにも本当に感謝いたします。直接お申し込みをいただいた方々には送料のみ実費で現在配布しておりますが、ホームページにも掲載されておりますので、ダウンロードしてご覧頂いてる方もたくさんいらっしゃいます。この事例集第2集の取りまとめに多大なご尽力くださいました多くの方々には本当に感謝申し上げます。

このような草の根活動がさらに多くの協働の同志を得て、地域それぞれの特徴を持った活動が各地で花開いて行くことを大いに期待しております。

またコロナの蔓延が大いに心配される時ではありましたが、身近でできる水辺の自然再生普及促進プロジェクトとして

「小さな自然再生」現地研修会を愛知・秋田・京都にて3回実施いたしました。この現地研修会は公益財団法人河川財団の河川基金助成をいただき実施したものです。新型コロナウイルス感染防止を徹底するため当初予定していた規模を縮小して少人数での開催となりましたが、各研修会の共催及び協力団体の皆さま、また熱心な講師皆さまのご尽力のおかげで、3回とも実り多い現地研修会を実施することができました。この「小さな自然再生」現地研修会も昨年で通算11回となりましたが、今年も関係者の協力を得ながら実施してまいります。

さらに昨年は平成9年に河川法を改正して以来、大きな転換を迎える画期的な出来事がありました。それが洪水の危険性が迫っている場合に実施される「ダム事前放流」です。本来の利水目的である貯水容量を治水目的で事前放流する調整が各水利権者の間で整ったのです。水害に備え農業や発電などの利水目的ダムの容量も含め、国管理の1級河川約100水系で事前放流の仕組みを作ることが出来たのです。もちろんこの運用には気象庁の整備したスーパーコンピューターによる3日前からの降雨予報確率が格段に高まったことも大きな推進要因ではありますが、かわる多くの治水担当者、農業従事者、発電事業者、水道事業者等が一堂に会して河川の持つ役割を共通認識として合意出来たのです。1000年を遡る水利権も存在することから、ここまで纏まるには大変な決断であったかが推察できます。

河川は「環境の整備と保全」という大きな目的を加えて以来「治水・利水・環境」という3本の柱を全て並び建つように調整してきたのですが、時としてそれぞれの立場を優先するあまり、せめぎ合いもしてきました。環境を無視した直線コンクリート三面覆工河川への改修、灌漑期の瀬枯れ現象

の多発、河川敷の樹林化による堤防決壊事故など、私達は多くの辛い経験をしてきました。

しかし、今回のハツ場ダム 50 個分の事前放流を関係者の総意として合意できたことで、これからの川がまさに多くの人々の共通の財産として認識され、治水と利水と環境がほどよいバランスで並び建つことができるのではないかと明るい未来を描くことができました。

これからも気候変動はさらに極端化へ向かって進んでいくものと思われます。自然エネルギーとしての水の持つ役割はさらに大きくなってくるものと思います。そのようななかで河川環境が果たす役割もまた大きいものがあり、治水と利水との共存も私たちが担うべき大きな役割であると思います。

これからも JRRN の人と情報のネットワークはさらに皆様と強固に繋がり、国レベルの方向性へも力強いオピニオンを発していきたいと思います。

今年も各地で大にご活躍ください。どうぞよろしくお願いいたします。

2021 年元旦

JRRN 代表理事 土屋信行



2020年11月開催 第10回「小さな自然再生」現地研修会 in 秋田・齊内川

JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及プロジェクト-「小さな自然再生」現地研修会のショートムービー公開

2020年11月下旬に連続開催しました全3回の「小さな自然再生」現地研修会の概要報告ショートムービー（各5分程度）を作成しました。

どのような研修会だったかご興味のある方、また今後「小さな自然再生」現地研修会の開催を希望されている方はご覧いただければ幸いです。

- 第9回「小さな自然再生」現地研修会 in 名古屋・矢田川
(2020年11月13日開催) 記録動画
→ <https://youtu.be/fVN00aukb4E>
- 第10回「小さな自然再生」現地研修会 in 秋田・斉内川
(2020年11月24日開催) 記録動画
→ <https://youtu.be/UCEgmyyQVS4>
- 第11回「小さな自然再生」現地研修会 in 京都・美山川
(2020年11月28日開催) 記録動画
→ <https://youtu.be/GTVVhRWT01s>

また、昨年開催した全3回の現地研修会については、これまでの研修会同様に、講演資料や現地活動の写真を含む「開催報告書」を作成し、後日改めて公開させていただきますので、もうしばらくお待ちください。

2015年9月から2018年2月に開催した第1回～第8回「小さな自然再生」現地研修会報告書、2019年1月に開催した「小さな自然再生サミット2019神戸大会」報告書は、以下のJRRNウェブサイトよりダウンロードしてご覧いただくことができます。

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/category/jrrn-lecturereport>

なお、小さな自然再生普及プロジェクトは、公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けて実施しております。

(JRRN 事務局・和田彰)

JRRN の YouTube ページ (<https://www.youtube.com/channel/UCjXQC5QjvNFFywaZU2K6jA>)

JRRN 事務局からのお知らせ (3) JRRN Activity Report

写真で振り返る 2020 年の JRRN 活動

香港政府渠務署(DSD)技術交流
<2020.1.14-18@東京>



首都圏の洪水・高潮対策や河川環境改善を学ぶ香港政府視察団が来日し交流しました。
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/664>

台北大学都市計画研究所技術交流
<2020.2.1@東京>



国立台北大学都市計画研究所・廖桂賢副教授と都市河川再生をテーマに交流しました。
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/674>

「桜のある水辺風景 2020」募集も中止
<2020.3.10@全国>



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、作品募集開始も3月下旬に中止を決定しました。
<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1114.html>

水辺の小さな自然再生事例集第2集発刊
<2020.3.31@全国>



「小さな自然再生」事例集の続編（第2集）を5年ぶりに発刊しました。
<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1127.html>

緊急事態宣言に伴い事務局閉鎖
<2020.4.7~5.6@東京>

JRRN からのお知らせ

<記事のページ>

JRRN事務局の在宅勤務実施期間中のお問い合わせ等について

JRRNでは、緊急事態宣言の延長を受け5/31(日)まで事務局職員の在宅勤務によるテレワークを実施中です。

この間のお問い合わせにつきましては、JRRN事務局のメール(info@arr-net)までご連絡をよろしくお願い致します。

どうぞよろしくお願い致します。

JRRN事務局

By JRRN事務局 | カテゴリー: その他 | コメント(0) | トラックバック(0) |
日時: 2020年04月14日 06:41

いいね! ツイート

緊急事態宣言の発令を受け、事務局職員の在宅勤務によるテレワークを初めて行いました。
<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1134.html>

令和2年度第1回 JRRN 理事会開催
<2020.5.29@東京>



新型コロナウイルス感染拡大防止対策として初めてweb会議を利用して開催しました。オンラインのため、全理事及び全事務局員が参加することができました。
<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1141.html>

第9回小さな自然再生研修会 in 矢田川
<2020.11.13@名古屋>



「事前モニタリングで学ぶ土砂移動」をテーマに愛知県名古屋市・矢田川にて開催しました。
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/683>

第10回小さな自然再生研修会 in 齊内川
<2020.11.24@秋田>



「多自然をモニタリングする」をテーマに秋田県大仙市・齊内川にて開催しました。
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/696>

第11回小さな自然再生研修会 in 美山川
<2020.11.28@京都>



「森と川の繋がりを考える」をテーマに京都府美山町・由良川上流(美山川)にて開催しました。
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/public/716>

(JRRN 事務局・和田彰)

水辺からのメッセージ No.140

岡村幸二 (JRRN 会員)

トンガリ帽子の取水塔： 江戸川の水を浄水場に送って 80 年 地域のシンボルとして親しまれる



撮影：2020年12月（東京都葛飾区・金町浄水場）

◆高度浄水施設のおかげで「おいしい水道水」に

金町浄水場といえば、1980年代に厚生省のおいしい水研究会で、「日本一まずい水道水」と評価されましたが、1990年代になると、高度浄水処理が開始されるとともに、上流からの江戸川の水質向上により、現在は、東京の水はおいしいと言われるまで劇的に改善されています。

◆変わらないのどかな江戸川の風景

この界限には、浄水場に隣接して柴又帝釈天があり、映画「男はつらいよ」の舞台ともなっています。柴又と左岸側の松戸をつなぐ矢切の渡しもあり、風情ある河川景観としては申し分がないところです。

■ 連載『水辺からのメッセージ』のバックナンバーは JRRN ホームページ内の以下のページよりご覧いただけます！

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/category/mizube>

会議・イベント案内 (2021年1月以降) *Event Information*

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■ これからの川づくりを考えるフリートーク&セッション「多自然川づくりの振り返りと今後の川づくりへのメッセージ」

- 日時：2021年1月22日(金) 13:00~16:00
- 主催：国土交通省中部地方整備局
- 場所：長良川国際会議場(岐阜県岐阜市)及びオンライン
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3170.html>

■ 市民フォーラム 2021『サケに好かれる街、札幌』

- 日時：2021年1月23日(土) 14:00~16:00
- 主催：札幌ワイルドサーモンプロジェクト
- 場所：オンライン (Zoom ウェビナー)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3172.html>

■ 第13回 淡海の川づくりフォーラム

- 日時：2021年2月7日(日) 9:45~16:00
- 主催：第13回淡海の川づくりフォーラム実行委員会
- 場所：オンライン
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3168.html>

■ 第十六回「外来魚情報交換会」

- 日時：2021年2月6日(土)~7日(日)
- 主催：琵琶湖を戻す会
- 場所：草津市立まちづくりセンター(滋賀県草津市)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3174.html>

■ 第6回川ごみサミット

- 日時：2021年2月20日(土) 13:00~16:00
- 主催：全国川ごみネットワーク
- 場所：全水道会館 5階中会議室(東京都文京区)及びオンライン
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3164.html>

■ 第13回 “いい川” “いい川づくり” ワークショップ

- 日時：2021年10月2日(土)~3日(日)
- 主催：いい川・いい川づくり実行委員会
- 場所：長良川国際会議場(岐阜県岐阜市)
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3166.html>

■ 皆様からのイベント情報提供をお待ちしています!

全国で河川再生に関わる様々な行事が開催されています。ローカル情報のPRや共有を目的に、皆様からの情報提供をお待ちしております。

冊子等の紹介 *Publications*

■ できることから始めよう 水辺の小さな自然再生事例集 第2集



市民が河川や水路の管理者と連携して日曜大工的に取り組む「小さな自然再生」の事例集の続編(第2集)の印刷製本版を普及中です。

本事例集は、水辺の小さな自然再生に取り組む全国の担い手の皆さまに、活動の経緯や目的、実施体制、工法の説明や工夫した点、使用材料や工具、施工後の維持管理や利活用の工夫、活動の効果やキーパーソンなどを執筆頂いたものです。

- 編集：「小さな自然再生」研究会
- 企画・構成：吉富友恭 東京学芸大学環境教育センター
- デザイン：本間由佳 明星大学 デザイン学部 デザイン学科
- 発行：日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)
- 発行年月：2020年3月

■ 送付申込受付中 → <http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1149.html>

本事例集の印刷製本版の送付をご希望の方は、送料(250円)のみご負担頂いた上で、2冊を上限に無料でご提供致します。詳細は上記URLをご覧ください。

■ 上記冊子の入手方法 ※PDF版はこちらから：<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/>

JRRN 会員募集中 JRRN membership

■ JRRN の登録資格 (団体・個人)

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

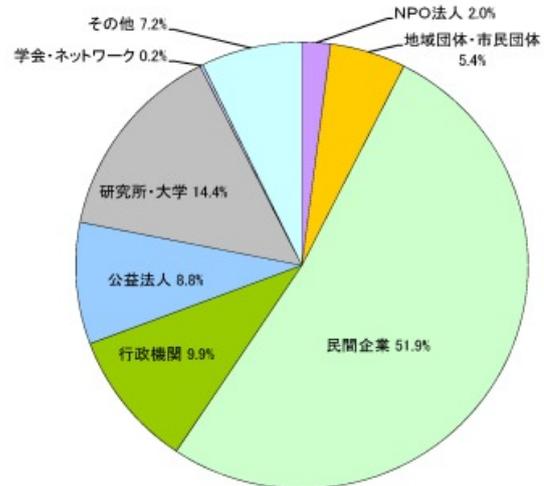
会員登録をされた方々へ様々な「会員特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週1回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2020年12月31日時点の個人会員の所属構成

(個人会員数：813名、団体会員数：60団体)

※12月の新規入会数：個人会員1、団体会員0

JRRN 会員特典一覧表 (団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 NMF 茅場町ビル7階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3865 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

